



もりよし

発行所 森吉町役場
編集 総務課
印刷所 米内沢
中央印刷所
発行部数 3,650部
1部 6円

知事一行、森吉山現地踏査す

阿仁鷹巣観光開発 報告大会盛會裡に終る

県名勝天然記念物指定の長は「県では、営林局に対小又峡、一、四五四米の高として県との併用林道という森吉山、五一度の湯の沢ことも話している。出来得温泉加えて優美な太平洋湖ダれば森吉山に大型遊覧船ム等々森吉山麓一帯の豊富国民宿舎、保養センターの観光資源も、地域住民の協力と県当局の厚意により又民泊、キャンプ地の整備意々県立自然公園指定も考慮されて、将来の県の計画まで来したこのとき、森吉山、八幡平、太平山、小畑山、開発促進のために、去る八月三日午後二時より報告大会を開催いたしました。

当日は、鷹巣阿仁部各町の町長、議員、商工、旅館組合、交通機関の各関係者、それに山岳会、体育協会、関係各官公署を加えて約一七〇名が参集し盛大な報告大会を開いて、一急務であり、この森吉山麓層の開発促進を誓い合いました。

席上、小畑知事、森吉町長、阿仁町長、鷹巣町長、議員、商工、旅館組合、交通機関の各関係者、それに山岳会、体育協会、関係各官公署を加えて約一七〇名が参集し盛大な報告大会を開いて、一急務であり、この森吉山麓層の開発促進を誓い合いました。



知事森吉登山



しめやかに戦没者追悼式終る

明治以降の町内戦没者を慰霊する追悼式が、八月十七日午前十一時より、前田小学校で百八十名の遺族が参列し、厳かな中にとり行われ、追悼式にひきつづき、余興に神成部落の婦人会の踊りが披露され午後二時に終了しました。

五味堀橋・小様川工事の落札

八月九日役場会議室において入札の結果、つぎのとおり落札しました。

◎五味堀橋かけかえ工事
落札額 五百十万円
工期 十二月十五日迄
落札者 森吉町
北林庄作

小様川右岸災害復旧工事

◎小様川右岸災害復旧工事
落札額 二百四十六万円
工期 十一月三十日迄
落札者 森吉町
佐藤吉幸

◎小様川左岸災害復旧工事
落札額 八二十六万円
工期 十月三十一日迄
落札者 森吉町
森川富雄

九月のこよみ

九月一日 防災の日
九月十日 二百二十日
九月十一日 二百二十日
九月十三日 司法保護記念日
九月十五日 敬老の日
九月二十三日 秋分の日
九月二十四日 国結核予防週間開始

敬老会 九月十四日に実施

九月十五日は「としよりの日」です。

町では例により敬老会を開催し、お年よりの方々をお祝いすることになっておりますので、該当するお年よりの方々は、今から十分健康に心がけられ、敬老会にはみなさんお揃いでご出席ください。

送り迎えは、森吉、前田地区には貸切りバスを計画しておりますので、その際はご利用ください。

日時および場所
△九月十四日午前十一時
△米内沢中学校講堂

納税のお知らせ

①今月は町、県民税第二期の納期です。納税を失くすお年より、誠に遺憾なものと督促手数料のほかに延滞金を加算されますので、ご注意願います。

②七月までの滞納者には、差押え督促状、催告状、差押え警告書を発して注意を喚起してまいりましたが、なおかつ、誠意を認められなるときは法律の規定どおり断平、滞納処分(財産差押)を強行いたします。

七十歳になったら老齢福祉年金を請求しましょう

老齢福祉年金は、七十歳抄本および住民票の写しなど以上のおとよりにより国から支給される年金です。現在、老齢福祉年金の年金額は一万九千二百円(月額一千六百円)となっていますが、昭和四十四年十月分からは二万四千円(月額二千円)に引き上げられます。

この老齢福祉年金は、七十歳以上の方で、まだ裁定請求を行なっていない人は、早めの手続きをすませていただきます。

なお、この裁定請求の手続を行なわないで五年間放置しておくと、時効によって年金を受ける権利が消滅して一生、年金を受けられなくなりますが、七十歳以上の方で、まだ裁定請求を行なっていない人は、早めの手続きをすませていただきます。

老人をいたわりましょう

寄りの幸せを高めるように、お年寄りのための行事に参加できるようにしてあげましょう。

◎お年寄りの健康に気をくばり、この週間に健康診断を受けるようにすめましょう。

◎お年寄り中心の家族だんらんをこの機会にもちましましょう。

◎子どもや孫たちで、お年寄りのためになるようなことをして、いたわりと感謝の気持ちをあらわしましょう。

町民体育祭

(米内沢、前田両地区で開催)

期日 両地区とも八月二十五日(但し当日雨の場合は米内沢地区は九月一日、前田地区は八月二十六日に延期します。)

場所 米内沢地区
前田地区

時間 米内沢地区 午前九時より
前田地区 午前八時より

ユースホステル 米内沢登録所開設される

秋田県ユースホステル協会で、八月一日より米内沢登録所を開設しましたので、会員登録、入会申込、及びユースホステル運動について知りたいなどにご利用ください。

▽登録所 森吉町米内沢本丁、永井商店内電一三三番手続

一、申込書を登録所からもらって出してください。



観光マナー

オニッポン、ケンキ、ケイネ、アトガ、トツメ、キタナイ、ネエ

デモ、ニッポン、ヒト、アトガ、トツメ、キタナイ、ネエ

立つ鳥は跡をにごさず、後片付けの大事なおことを考えましょう。

子の非行に涙する前に、先づ親の過去をふり返ることだ。

(青少年を立派に育てる運動)

北秋田財務事務所

米内沢猟友会

議会だより

(7月)

十八日 県議会産業労働委員、森吉山県立公園指定調査に来町す。町議会議員懇談会開催に参加す。

十九日 県議会議長会役員会開催(北林議長参加)

二五、二六日 産業経済常任委員会開催(町内関係事業調査について)

▽請願第七号山腹畜産事業に対する助成金について審査。

役場日誌

二日 献血推進協議会
五日 選挙管理委員会
第二回献血の日
十八日 監査委員会(二四日まで実施)
十九日 消防幹部会
二十九日 移動消防学校
三十一日 産業委員会

年金



サラリーマンの奥さん総加入運動

現在わが国は、福祉国家として国民皆年金の体制をととのえています。

すなわち、勤め人は職場の厚生年金や共済組合の年金に加入し、農家や個人商店などの自家営業に従事する人びとは、国民年金に加入してあります。

しかし、サラリーマンの奥さんについては、将来ご主人の退職年金に一応たよることができるといふことと、奥さん自身を保障する独自の年金制度がなく、万一に交通事故などで障害者になっても、奥さんには障害年金が支給されないうえ、現在は年金制度の谷間に残された人びとといわれ

そこで「国民年金の制度」では、サラリーマンの奥さんにも独自の年金(老年年金、障害年金、母子年金など)を与えようと、特に「任意加入」の道を開いて

晴の受賞おしらせ

九島善一君 優秀賞を受く

去る八月一日から三日間、県民会館と大湯村で第五回秋田県農業近代化ゼミナール技術交換大会が開かれ、当町からは男四名、女二名が参加しました。

深谷氏考案テール県商工祭で優秀賞

米内沢川向の深谷木工所深谷繁氏が、長年苦心の結

ている食堂テーブルが、去る八月六日開かれた第二十回秋田県商工祭工業振興展において審査の結果、優秀賞として、河北新報社賞を受賞しました。

せまい場所を有効に使用出来るというキャッチフレーズで考案された折たたみ食堂テーブルは、ボタン一つで移動が簡単で、中央の引出は両がわ工所の皆さん)

鈴木公民館長の昇段祝賀会



(下は祝賀会のもよう)

去る七月二十五日米内沢公民館で、公民館長鈴木勝治氏の剣道七段祝賀会が開催され、一六〇名の参加者のもとに盛大に催されました。写真下の居合道の披露もありました。氏の居合道は、秋田県第一と謳われ、長年武道で鍛えられた氏の功績を参加者一同讃えました。

なお、スポーツ少年団並に子ども会の育成会長として仕事をしのご活躍をされています。



少年団キャンプ

当町スポーツ少年団は、毎朝ラジオ体操、子ども会



農業近代化ゼミナール(料理講習)



農業近代化ゼミナール、生活改善部門として、米内沢公民館で三十名の会員が講師をかこんで熱心に講習を受けました。

この講習会は今年度中、毎月ひらかれており、積極的な参加を望んでいます。



慶弔だより

出生 おめでとうございます

高 高 恵美 (喜治郎 長女)	川 向
田 口 明美 (恵一 長女)	日 本
九 嶋 邦之 (寛雄 長男)	御 嶽
山 岡 康司 (康雄 二男)	御 嶽
松 岡 美由紀 (鉄男 長女)	姫 前
高 島 富美子 (直美 二女)	小 又
高 田 良子 (良蔵 二女)	五 味
若 松 恵理子 (寅太郎 二女)	根 森
三 浦 博幸 (右作 四男)	吉 田
播 磨 美智子 (豊吉 長女)	森 吉

婚姻 このよろこびをいつまでも

(九島雄一 大鶴市)	(吉田昭一 学校通)
(市原佳子 大崎市)	(五代儀弘子 鷹巣)
(藤原秀男 新大町)	(九島洋二郎 大館)
(船山ウメ子 東京都)	(下総京子 大館)
(長尾サツ子 北海道)	(庄司有弘 岩手)
(細田サツ子 新大町)	(清水秋子 岩手)
(高田エツ子 本城)	(田中酉蔵 白根)
(春日礼子 五味堀)	(菅原三郎 阿仁)
(南雲礼子 阿仁町)	(伊藤良男 阿仁)
(高橋芳子 阿仁町)	(近藤茂子 阿仁)
(庄司忠男 阿仁町)	(佐賀秋吉 桂川)
(吉田礼子 桂川)	(山田新二郎 石川)
(小山中元子 神奈川)	(山田フミ子 向川)
(網井千代子 大府)	(戸沢ユキ子 高知)

死亡 おくやみ申し上げます

武 石 サッ (太市 母)	根 小 屋
網 干 久子 (ツル 妹)	大 杉
北 林 サッ (祐太郎 母)	大 杉
柴 田 三蔵 (スエ 夫)	本 城
藤 本 清一郎 (シユ 夫)	桂 嶺 前
田 中 順蔵 (スワ 夫)	横 町
新 林 竹松 (儀一郎 義母)	小 滝
戸 浦 順子 (福一郎 長女)	高 畑
森 川 吉郎 (兼治 義父)	阿 仁 前 田
斎 藤 定雄 (利一郎 長男)	碎 淵

タバコはいっつも
でも町内から
買いました
おとうさん

ドブコは
飲むな作
るななア
おとうさん



(写真は森吉山)

沿革

明治四年七月の廃藩置県、大小区制、同六年の大小区改正を経て同十二年戸長制度がおかれ、米内沢、木城、浦田、阿仁前田、小又、根森田、五味堀、森吉、桂瀬に設けられた。
明治二十二年町村制の施行により、上記各村を統合して、米内沢村、前田村として行政区が設立され、さらに同三十五年米内沢は町制が施行された。
昭和三十一年九月二十五日町村合併促進法により、米内沢町、前田村の合併決議が同時に挙げられ、同月三十日森吉町として新設発足し今日に至っている。



町政のあらまし

昭和43年度

(其の1)

◎沿革◎位置地勢◎行政◎財政◎教育◎民生

建設。観光。商工。産業教育◎等は其の2

位置・地勢

本町は秋田県の北部、北秋田郡の南東部に在り南方は阿仁町、上小阿仁村に接続し、北は鷹巣町、比内町、東は鹿角郡八幡平村、仙北郡田沢湖町、西は合川町に境している。

極東 東経～140度42分 (森吉国有林地内)
極西 東経～140度19分 (米内沢字滝ノ沢地内)
極南 北緯～39度55分 (森吉国有林地内)
極北 北緯～44度11分 (米内沢字大沢地内)

	田	畑	山林	牧野	原野	宅地	その他	計
面積	971	512	28,145	3,390	620	85	464	34,187
%	2.8	1.5	82.3	9.9	1.8	0.3	1.4	100

議 会



議 長 北林 照助



副議長 佐藤 新太郎

役 場 機 構



助 役 三沢 栄明



町 長 近藤 富治郎



収入役 木村 長治郎

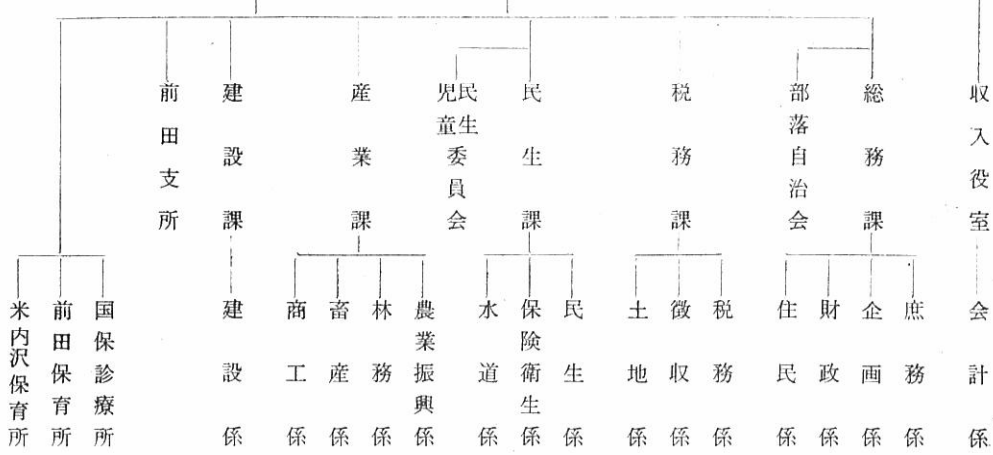
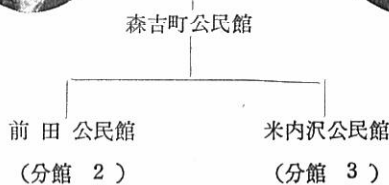
行 政



教育委員会

教育委員長 木村泰二郎

教育長 長崎佐太吉



選挙管理委員会

委員長 川口 伊一郎
委員 4名

農業委員会

会 長 奥田 信吾
委 員 14名

監 査 委 員

代表監査 金 逸 郎
委 員 三浦 富三郎

固定資産
評価審査委員会

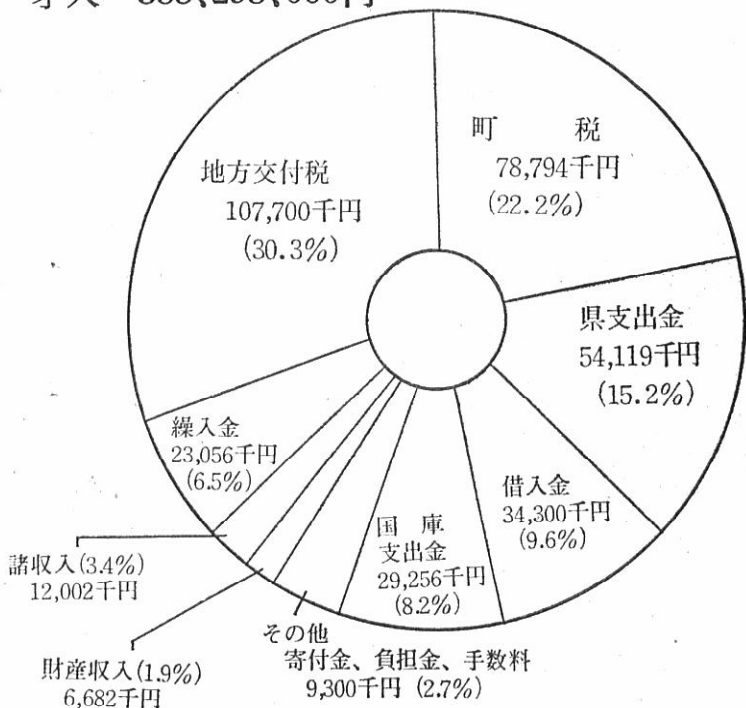
委 員 3名

財政

昭和43年度一般会計予算

才入 355,295,000円

才出 355,295,000円



教 育 費	農 林 水 産 業 費	総 務 費	土 木 費	公 債 費	民 生 費	そ の 他
116,704千円 (32.8%)	81,861千円 (23.0%)	49,903千円 (14.0%)	二八、八九五千円 (8.1%)	二二、六六四千円 (6.4%)	一八、四二二千円 (5.2%)	三六、八七六千円 (8.6%)

その他の内訳

民生費	10,159千円 (2.9%)	議 会 費	8,545千円 (2.4%)
消防費	6,631千円 (1.9%)	災害復旧費	6,107千円 (1.7%)
諸支出金、労働費、商工費、予備費	5,434千円 (1.6%)		

昭和43年度特別会計予算

国民健康保険事業特別会計	52,656千円
国民健康保険診療所特別会計	13,208千円
森吉へき地診療所特別会計	2,719千円
簡易水道事業特別会計	6,210千円

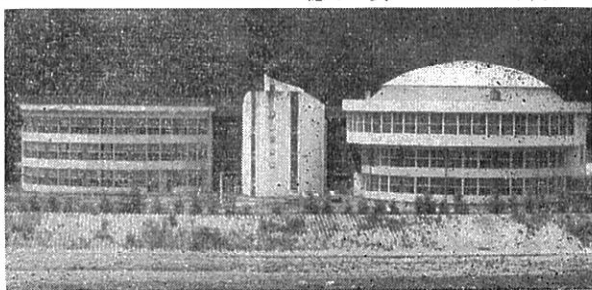
米内沢財産区特別会計	54,958千円
前田財産区特別会計	3,310千円
計	133,061千円

教育

(1)



前田小学校
鉄筋コンクリート門型3階建
校舎 3,901.82㎡
(体育館3階)
グラウンド
総工費 83,247千円



米内沢小学校
鉄筋コンクリート3階建
校舎 3,430.46㎡
体育館 858.44㎡
プール 25m 13m 2基
グラウンド 200mトラック
総工費 147,470千円

本館	1
地区館	2 (前田 米内沢)
分館	6
職員	
常勤	5 (専任職員)
嘱託	1 (農近ゼミ)
非常勤	16 (館長、分館主事)



前田公民館



米内沢公民館

	米内沢公民館	前田公民館
総面積	560㎡	506㎡
室数	7	5
	木造2階建	木造2階建
	150名収容	130名収容

民生

◎福祉施設

○保育所

施設名	幼 児 数			保 母
	男	女	計	
米内沢保育所	41	29	70	4
前田保育所	33	27	60	4

○幼稚園

幼児数 男 45名 女 32名 計 77名 保母 2

○児童・福祉館

施設名	面積	室数
森吉保健福祉館	165㎡	3
五味掘児童館	168㎡	3
本城児童館	99㎡	2

◎消防施設

分団数	団員数	防火水槽	ポンプ自動車	手引ポンプ	可搬ポンプ	消火栓
6	274	16	6	3	12	47

◎国民年金

強制加入	任意加入	計
3,141	650	3,791
拠出年金受給者	43名	2,374千円
福祉年金受給者	482名	9,105千円

◎国民健康保険事業

(昭和42年度)					
世帯数	被保険者数	保険税	受診件数	受診率	療養給付額
世帯 1,735	人 7,800	円 17,617,420	件 20,663	264.91	円 42,943,889
1世帯当り	人 4.4	円 9,617	割 付 7		円 24,751
1人当り		円 2,139	割 付		円 5,505

◎献血推進協議会

昭和39年献血都市宣言	
登録者数	716名
献血延人員	930名

◎医療施設

施設数	7
医師	18人
看護婦	80人
技師	8人
職員	66人
ベット数	307床